

事務事業名	地域振興総合補助金取りまとめ事業		☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 0 4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
施策名	計画 1 6	行財政改革の推進	所属係	政策企画班	課長名	齋藤 正昭
基本事業名	体系 5 6	自主財源の確保	担当者名	工藤 一伸	電話番号 (内線)	096-248-1813 1245
予算科目	会計 0 1	款 0 2	項 0 1	目 1 1	事業	
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 18 年度 ~) (年度 ~ 年度)					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)			全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 地域振興総合補助金に関する県からの受付、庁内への周知、取りまとめ、県へ申請する事業である。 (業務の内容) 県からの文書受付(通知・照会・回答) 新着情報へ揭示し、周知する (予算の内訳) なし			総投入量	財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
				事業費計(A)	0	
				人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)	0
				トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

県からの文書受付を行い、新着情報で周知を行った。政策推進室の循環バス調査委託で補助を受けた。1件のみであったため、申請・実績報告等の事務は政策推進室で行ったが、複数ある場合は、取りまとめの必要がある。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

庁内各課等(補助金の対象事業を持っている課等)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

地域振興に関する制度の趣旨を理解して、対象事業となるよう積極的な活用に取り組んでもらう。

④ 結果(どんな結果に結び付けられるのか)

自主財源が確保できている。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 地域振興総合補助金に関する情報の周知回数	回
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 課等の部署数	課
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 認定申請を行うとする事業件数	件
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 経常一般財源比率	%
イ 税収納率	%
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円							
			事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間			10	10	10	10		
		人件費計 (B)	千円	0	0	40	40	40	40		
トータルコスト(A)+(B)				千円	0	0	40	40	40	40	
活動指標			ア	回			5	5	5	5	
			イ								
			ウ								
対象指標			ア	課			30	24	24	24	24
			イ								
			ウ								
成果指標			ア	件			2	3	3	4	5
			イ								
			ウ								
上位成果指標			ア	%							
			イ	%							
			ウ								

事務事業名	地域振興総合補助金取りまとめ事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
従前から、地域振興の課題解決を図り地域の自立を目指す目的で、熊本県が特に重要な地域課題の解決へ向けた取組みについて、市町村等からの企画・提案を募り、効果的と認められる事業に要する経費の一部を補助する制度として創設された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
平成18年度2町の合併により、合併市町村には優先的な割り当てが期待できることから、積極的な取組みを行うこととなった。
県の単年度要項に基づく制度であり、毎年3月下旬頃までに次年度の各振興局ごとの配分枠を定めるための照会があり、4月上旬から下旬にかけて認定申請を行う。必要に応じてヒアリングが行われ、対象とならないこともある。県内のとりまとめと予算配分の調整後、交付の内示が6月下旬頃行われ、7月初めの交付決定となる。内示前の事業着工が制限されるため、年度当初から行う必要のある事業に対する措置が課題である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
県のサイドからは、市町村によって財源獲得に対する意欲に差があることが指摘されており、補助対象事業として合致させるための工夫も必要であるとの話を聞いた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 地域振興やまちづくりに対する趣旨を関係各課が理解したうえで補助金申請を行い、それをとりまとめる事業であり、市の財源確保につながることから結び付いている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 県と市町村のパートナーシップに基づくことが要項で明記されており、公共的な関与が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 地域振興やまちづくりに対する趣旨を関係各課が理解し、補助事業に認定される事例を積み重ねることで、職員の財源獲得意欲が高まることが期待でき、向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 県と事業に取り組む課等との橋渡し、窓口、取りまとめ役となる担当が必要であり、廃止・休止をすれば大きな影響がある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他の類似事業のとりまとめとの統廃合・連携が考えられるが、企画財政課によって総括する可能性が高く、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の発生はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 県からの照会、各課等への通知、事業申請の取りまとめ等、省略できる事務はなく、この事業に必要となる事務については削減の余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全職員宛ての庁内イントラ:新着情報に投稿することにより、公平・公正である。

事務事業名	地域振興総合補助金取りまとめ事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	地域振興やまちづくりに対する趣旨を関係各課が理解し、補助事業に認定される事例を積み重ねることで、職員の財源獲得意欲が高まることが期待でき、向上の余地がある。
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 地域振興やまちづくりに対する趣旨を関係各課が理解し、補助事業に認定される事例を積み重ねることで、職員の財源獲得意欲が高まるよう周知、啓発に努める。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 職員一人ひとりが市財政の危機的状況を認識し、創意工夫をもって財源を獲得する意欲を高めることが必要である。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由
① 目的妥当性	☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	
② 有効性	☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	
③ 効率性	☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	
④ 公平性	☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(6) その他2次評価会議で指摘された事項